



# TSUMUGI 通信 VOL.4

一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御園町長屋1963

(株)エポリューション内 ☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006

E-mail [3ctsumugi@gmail.com](mailto:3ctsumugi@gmail.com)

<https://3ctsumugi.wixsite.com/top-page/>

新型コロナウイルスの感染が再拡大し、不安な日々が続く中、各自治体ならびに県内企業は緊張感をもって新たなライフスタイルに移行する環境づくりのためにご苦労されていると思います。

今こそ、行政も民間も個人もこぞってSDGsのGOAL17パートナーシップの推進に取り組まなければならないと実感しています。

## 7月18日(土)に交流会を開催しました!



懸案となっておりました交流会を開催いたしました。もとより当ネットワークは会員どうしで助け合おうという組織ですから、交流の機会を熱望しておりました。しかし、まだまだ慎重な活動が求められますから、参加の皆様には何かとご不便をおかけしての開催でした。



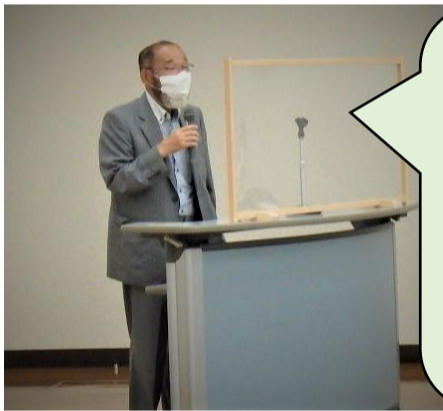
進行を Will Staff の長谷川さん  
にお願いし、冒頭には鈴木英敬知  
事からの力強い応援メッセージを  
披露いただきました。



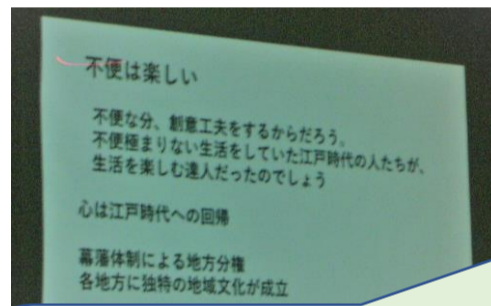
開会のご挨拶を川井代表からさせていただき、当初3月に計画をしていた交流会が今回に至ったことのご報告。

また地域で相互扶助を実践していくために当法人を立ち上げた趣旨をお話しさせていただきました

第1部は、当法人顧問の内田淳正三重大学前学長に「地方創生への挑戦と課題」というテーマにて基調講演をお願いしました。



地方は著しく人口が減少しているがそこで生活している人々が不幸であるようには見えない。  
.....  
生活の利便性とは離れたところにも人の幸せは存在する。



不便は楽しい  
不便な分、創意工夫をするだろう。  
不便極まりない生活をしていた江戸時代の人たちが、生活を楽しむ達人だったのでしょ  
心は江戸時代への回帰  
幕藩体制による地方分権  
各地方に独特の地域文化が成立



第2部は、長屋理事をファシリテータとして情報交流を行いました。

理事より内閣府が「新しい生活様式」の実現に向けて発表した「地域未来構想20オープンラボ」の紹介がなされた後、会員の皆さんから自社としてお手伝いのできる提案が披露されました。

時間の関係上、ご紹介していただけなかった会員様には、パンフレットの展示にてのご案内となりました。



持ち寄りパンフレットの展示

### 会員のみなさんからのプレゼン



グローブマーケティング(株)  
岩本プロデューサー



三重県産業支援センター  
岡村理事長



長屋理事



(株)大栄工業  
神寄営業本部統括部長



当日は、竹上松阪市長、中村鳥羽市長、辻村玉城町長、小山南伊勢町長にもご出席をいただきました。



短時間ではありましたが閉会の辞を党顧問中嶋県議より行い、第1回交流会を無事終了させていただきました。

次回の交流会またはセミナー等が早期にご案内できることを願うとともに、会員拡大に向けたご協力を引き続きお願いいたします。